

県内で開催された学会にて催事販売を実施、令和2年7月の人吉球磨・豪雨災害パネル展なども展開

売上金の一部を「人吉球磨豪雨災害」の復興支援金として寄附

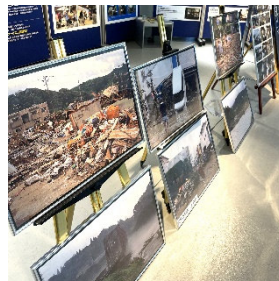
～商品販売を通じて熊本の“今”を全国へ発信し、復興支援や地域貢献に～

熊本、九州各地の交通・観光拠点、及び大型商業施設にて飲食・物販事業を展開する九州産交リテール株式会社(所在地：熊本市中央区花畑町／代表取締役社長：松原 靖／以下九州産交リテール)では、11月に熊本城ホールで開催された「第78回日本大腸肛門病学会学術集会」にて行った、催事販売の売上金の一部を、令和2年7月に発生した「人吉球磨豪雨災害」の復興支援金として寄附いたします。また、12月21日(木)には人吉市役所にて、松岡隼人市長へ直接寄附をさせていただきます。

九州産交リテールでは、かねてより物販や飲食を通じた地域貢献を目指すため、さまざまな取り組みを行っています。今回、11月10日(金)～11日(土)の2日間、熊本城ホールで開催された「第78回日本大腸肛門病学会学術集会」において催事販売を実施。全国から約2,400人の関係者が参加をされている中、熊本土産はもちろん、産地直送商品やくまモン雑貨、そして人吉球磨の焼酎ブランド「球磨焼酎」を含んだ約50種類の商品販売を行いました。合わせて、令和2年7月に人吉球磨で発生した豪雨災害の様子を紹介するパネルの展示を行い、参加された方々に当時の様子をご覧いただきました。当日は、球磨焼酎の蔵元さまにもお越しいたき、焼酎の販売を行っていただきながら、災害当時の様子や、現在の状況などを、直接お話をさせていただきました。

そして、2日間の催事販売の売上金の一部を、「人吉球磨豪雨災害」の復興支援金として、12月21日(木)に人吉市役所の被災者支援対策課を通じて、人吉市・松岡隼人市長へ寄附をさせていただきます。

九州産交リテールでは、引き続き人吉球磨の災害復興を支援すると共に、熊本のさまざまな地域貢献への活動を行ってまいります。



▲「人吉球磨豪雨災害」の当時の様子を撮影したパネル展の様子

■人吉球磨豪雨災害の概要

令和2年7月豪雨により、6地点の水位観測所で氾濫危険水位を超過し、球磨川本川の34地点で氾濫が発生。堤防決壊や護岸欠損等による浸水被害が広がったほか、17橋梁も被災・流失しました。球磨川流域における犠牲者数は50名にものぼり、浸水や家屋倒壊などで約7,400戸が被害を受けました。また、球磨焼酎全27蔵元のうち3社が大規模な浸水被害を受けたほか崖崩れによるタンクの傾きや瓶詰めラインが浸水するなど多くの蔵元に被害が及びましたが、多くの方々の支援により復興を進めております。

■寄附金贈呈 詳細

日時：2023年12月21日(木)14:00～

場所：人吉市役所3階 市長室

ご対応：人吉市役所 松岡隼人市長

贈呈者：九州産交リテール株式会社 代表取締役社長 松原 靖



▲催事販売売場の様子

<当件に関するお問い合わせ>

九州産交リテール株式会社 広報室：江藤
TEL：080-5801-8563(携帯)



九州産交リテール株式会社は、「社員がいきいきと働き、安心して働き続けられる企業」として、熊本県推奨の「フライ企業」に認定されています。



九州産交グループポータルサイト
[お食事・お土産]のタグから九州産交リテール
運営店舗の情報がご覧いただけます。